

会報 エコネットはんのう

編集・発行 / はんのう市民環境会議

第2回環境みるみるツアーを開催！

昨年に引き続き、はんのうの環境を見る、知る、感じることを目的とした「環境みるみるツアー」が10月23日に穏やかな秋晴れの中、開催されました。ツアーの参加者は63人、大型バス2台を使い、飯能市の新しい仲間「名栗地区」を巡りました。

名栗地区は、名栗湖（有間ダム）や有間溪谷、入間川の源流、ウノタワのブナ原生林など自然の宝庫であるとともに、自然との関わり合いの中で生まれ、育まれた文化など地域に根付いた魅力にあふれています。

ツアーは、実行委員の鴛田さん、浅野さんのガイドのもと、飯能市の水がめである有間ダム（堰堤内）や入間川の出発点となる起点、新田地区の市有林での森の番人による枝打ちや間伐作業などを見学しました。

今回のツアーでは、日常なかなか見ることができない森林の枝打ちや間伐作業を、森の番人からの説明を聞きながら間近で見学をしました。

森林には水の涵養や二酸化炭素の吸収など公益的な機能を持っています。しかし、手入れがなされると、この機能が十分に発揮できません。森の番人は、間伐等の造林事業のほか森林調査、林業後継者の育成等様々な活動をしています。今回の機械や実際に木に登って不要な枝を切り落とす枝打ち、木そのものを切り倒す間伐の実演を見た参加者からは大きな拍手が起きました。

また、山道を散策しながら、入間川の起点まで歩きました。山道の途中で湧きでる中尾の滝や蛇滝に、歓声を上げながら歩き、約40分かけてたどり着いた起点には碑が立っていました。湧き出た水が集まり沢となり、沢が集まり、この場所から入間川となります。起点付近にある湧き水で、のどの渇きを潤す人もいました。



新田市有林にて



入間川の起点で記念写真

近くだけど、なかなか見に行くことができない場所を見て回った今回のツアーでは、多くの人から、楽しかった、見学できてよかったなどの好評な感想をいただきました。今後も皆さんに喜んでもらえるイベントを催したいと思います。

名栗地区の魅力はまだまだあふれています。秋の紅葉のシーズン、この素晴らしい季節に、皆さん、是非、新しい仲間である名栗地区を訪れ、その魅力を肌で感じてはどうでしょうか。

活動を報告します（７～１０月）

《自然環境部会》

自然環境部会では、定例勉強会（２回）、自然観察会（２回）を開催しました。また、市職員を招き、第４次飯能市総合振興計画の勉強会を開催することを提案しました。

○第３回勉強会 ７月２３日（土）（場所：富士見公民館 １１名参加）

定例勉強会を開催し、部会発足２年目を迎え、部会活動について意見交換を行いました。「エコツーリズムと市民環境会議との関係はどうすればいいのか」、「行政、事業者と市民との意見交換がされていない。行政の話聞く機会を持とう」、「自然観察会等は、各団体の事業でやっているの、市民環境会議で実施すると労力が重なり、息切れしてしまうだろう。」など、反省や今後への活動について多くの意見が出されました。

○自然観察会「名栗川川歩き」 ８月７日（日）（場所：吾妻峡他 １２名参加）

会員である天覧山・多峯主山の自然を守る会との共催により、入間川を本郷浄水場から吾妻峡まで、さかのぼりながらの観察と散策を行いました。昨年同様に、ギバチなど多くの水生生物や河岸の植物が確認できました。



上：今では見ることが珍しくなったと言われるギバチ

○第４回勉強会 ９月２４日（土）（場所：富士見公民館 ８名参加）

桜の森構想や不法投棄の諸問題について、分科会方式ではなく、定例勉強会で時間を区切って参加者全員で協議していくこととしました。また、「イノシシの駆除と保護について、生存頭数の把握が必要」、「希少種の植物の保護対策について、情報収集して認識を広めていくことが必要」、「環境事業に対して、第三者による評価表を作り、実績を数値化することが必要」といった意見が出されました。

○自然観察会「秋の草木を観よう」 １０月９日（日）（場所：天覧山他 ７名参加）

会員である天覧山・多峯主山の自然を守る会との共催で行いました。当日は、朝から雨模様でしたが、７名が参加したので決行することとしました。普段は見る事が出来ない天覧山・多峯主山一帯の雨にけむる秋景色を堪能しました。

《生活環境部会》

生活環境部会では、懇談会を２回開催しました。

○懇談会 ７月２２日（金）（場所：飯能幼稚園 ３名参加）

平成１７年度の生活環境部会の活動内容について話し合いました。現在の環境問題の認識のための冊子の作成案、環境問題の現状がわかるためのものさし（環境指標等）の作成案について意見交換を行いました。

○懇談会 ９月２４日（土）（場所：飯能幼稚園 ９名参加）

前回に引き続き、平成１７年度の活動内容について話し合いました。現在の環境問題の認識のための冊子案、我がまち（地域）大好きコンテスト案について、意見交換を行いました。の冊子は、環境問題の最新情報を常に共有することを目的にし、市民環境会議全体の会員や学校などに配付できればと考えています。印刷や製本（簡

単なもの)は、部会メンバーで行おうという意見が出されました。

については、昨年の活動のキーポイント『公園』を題材に、公園の美化・活用法など地域に働きかけ、コンテストを行うというものです。コンテストの優劣は問題ではなく、地域の世代を超えた人々が『公園』というものを通して話し合いをして、実際に美化活動などを行うというプロセスを重視します。そして身近な環境問題の意識を共有することで、もっと大きな環境問題への意識付けにつながると考えます。

《地球環境部会》

地球環境部会では、環境学習会とともに、懇談会を3回開催しました。

- 懇談会 7月23日(土)(場所：富士見公民館 9名参加)

定期総会で承認された今年度活動計画の具体的な進め方を話し合いました。今年度は「環境に優しい生活の事例集をつくる」、「買物袋持参運動の普及」、「環境学習会開催」の3つを活動の柱にしていますが、それぞれの活動を進める上での課題や推進体制などについて活発な意見交換ができました。今後テーマごとに懇談会を開催し、具体的に活動の進め方を固めていくことになりました。

- 環境学習会 8月20日(土)(場所：富士見公民館 6名参加)

テーマ：水環境の環をつくろう

副部会長の鴛田節男さんを講師に、ライフラインの一つである「水」について、学習しました。水は場所やかたちを変えて人類に豊かな恵みを与えてくれる一方、甚大な被害をも与えるという二面性を持っており、上手な付き合い方が求められる貴重な地球資源の一つです。水循環により地球の環境が保たれ、全ての生命が育まれていることを再認識する学習会でした。

- 懇談会 9月17日(土)(場所：富士見公民館 8名参加)

毎日の生活の中で環境に配慮した「エコライフの事例」を皆でリストアップしました。各自が日頃実践していること、あるいは実行したいと思っていることを発表し、それぞれ関連する項目ごとに整理し、「エコロジーライフ」行動事例をまとめました。さらにみんなで知恵を出し合い、はんのう市民環境会議版「エコライフのすすめ(仮称)」となるよう完成度を高めていきます。

- 懇談会 10月15日(土)(場所：富士見公民館 8名参加)

「買物袋持参運動」の普及活動から派生し、市内主要店舗を対象に「エコ度調査」を進めることになり、対象とする店舗と調査内容について話し合いました。レジ袋を扱う百貨店・スーパー・コンビニ・ドラッグストアなどを対象に、アンケート方式で各店舗の「環境への取組状況」をお聞きすることになりました。引き続き、アンケートの内容や実施スケジュールなど具体的内容について協議していきます。

《総合振興計画・環境政策説明会》

8月27日(土)に、飯能市が現在策定している「第4次飯能市総合振興計画」(素案)のうち、環境政策について、市の職員を招き、お話しを伺う環境政策説明会を富士見公民館で開催しました。本会議からは、26名の会員が参加し、市の職員から説明を受けた後、積極的な質疑応答や意見交換が行われました。

後日、本会議の栗原会長から沢辺瀨吉飯能市長に要望書を提出しました。

11月、12月の予定をご案内します

各部会の11月、12月の予定をご案内します。皆さんの参加をお待ちしています。
各部会の活動日時、場所、内容をお間違えないようご注意ください。

《 11月 》

12日(土) 地球環境部会開催

時 間：午後2時～4時(申込不要、直接会場へ)

場 所：富士見公民館 2階 第3学習室(双柳1-16【市役所北側】)

内 容：懇談会

別添「エコロジークライフ」のような行動事例をリストアップします。皆さんが
日頃から実行している事例をたくさんお寄せください。

26日(土) 生活環境部会開催

時 間：午後2時～4時(申込不要、直接会場へ)

場 所：飯能幼稚園(住所：山手町9-14)

内 容：懇談会

26日(土) 自然環境部会開催

時 間：午後7時～9時(要申込、11月24日までに環境緑水課へ)

場 所：富士見公民館 2階和室(住所：双柳1-16【市役所北側】)

内 容：第5回勉強会

・部会事業計画の見直しについて

・桜の森構想、エコツーリズムについて

申込み：希望者は、電話、ファクス等で市役所環境緑水課までお申込みください。

(配布資料部数確認のため、ご協力をお願いします。)

《 12月 》

17日(土) 地球環境部会開催

時 間：午後2時～4時(申込不要、直接会場へ)

場 所：富士見公民館 1階 第1学習室(双柳1-16【市役所北側】)

内 容：懇談会

市内主要店舗の「環境への取組状況」を調査するにあたって、その内容や方法、
実施スケジュールなどについて、話し合います。

12月は、自然環境部会の定例勉強会はありません。また、生活環境部会は未定ですので、ご
注意ください。

お知らせ 宮沢湖で浮島を作りませんか ～ 湖の浄化と生態系づくり ～

NPO法人 とよあしはら では、宮沢湖で間伐材や竹で組んだいかに、水の汚れを吸収する水生植物を植えた
浮島作りを行ないます。ピオトープ的な役割も担うため、関東近県の湖でこの取り組みが行なわれ、全国紙にも取
り上げられました。浮島作りに参加してみませんか。環境学習の一環として、特に小・中学生の皆さんの参加を歓
迎しています。参加費は無料です！

日 時：11月20日(日) 午前10時から12時半【雨天の場合：11月23日(水)】

場 所：宮沢湖(入り口駐車場付近集合) 駐車料は無料ですが、台数縮減にご協力ください。

参加者：NPO法人とよあしはら、埼玉県みどり自然課、西川木楽会、一般参加者

持ち物：タオル、軍手 作業内容は、いかに炭の敷き詰めや植物の植付け等を行ないます。

申込み：11月17日(木)までに環境緑水課へ電話、ファクス等をお願いします。

編集後記：今年1月の名栗村との合併により、飯能市の75%が林野面積です。飯
能市独自の制度の「森の番人」5人が、現在市有林を守っているわけですが、何と
しても少なすぎる思いがします。私見としては、環境税導入が必要と思いますが、
内閣府の調査では32%が導入に反対とのこと。消費税のアップ、定率減税の
廃止とかいろいろ報道されていますが、税に対する負担増が抵抗感となっている
ようです。40年も育った杉・桧もタダ同然という現実を見ると、昔のように山か
らの現金収入がなくなっている今、公的資金(環境税)の導入が地方には必要と
思います。理解を得られるにはもう少し時間が必要のようです。あと2か月
で今年も終わります。本会のタイトル- できることから始めよう - 私たちにで
きることは、私たちから始めましょう。(広報委員長：木川一男)

はんのう市民環境会議事務局

飯能市市民生活部環境緑水課環境推進担当

住所 〒357-8501 飯能市双柳1-1

電話 042(973)2111(内線175)

ファクス 042(974)6737

Eメール kankyo@city.hanno.saitama.jp